

※出題範囲は以下の操作や機能を含みますが、これらに限定されるものではありません。

出題範囲（参考訳）	
1. テクノロジーの基礎知識	
1.1 デジタル環境をカスタマイズする	
<ul style="list-style-type: none"> 個人のニーズや好みに合わせてデバイスを設定できる 個人のニーズや好みに合わせてブラウザを設定できる 	
1.2 個人用のオンラインカレンダーを利用する	
<ul style="list-style-type: none"> オンラインカレンダーに予定やタスクを作成できる オンラインカレンダーを他者と共有できる 自分のオンラインカレンダーにある特定の情報を表示させることができる 	
1.3 より高次のテクノロジーの概念を定義できる	
<ul style="list-style-type: none"> 自動化の方法について説明できる クラウドコンピューティングについて説明できる オートコレクト（自動入力修正）機能の利用について理解し、説明できる オートコンプリート（入力自動補完）機能の利用について理解し、説明できる 	
1.4 一般的なハードウェアの設定変更について特定し、説明できる	
<ul style="list-style-type: none"> 一般的なサウンドの設定変更について特定し、説明できる 画面の明るさやコントラストの設定コントロールを特定し、説明できる 	
1.5 プリンターの主な概念について説明できる	
<ul style="list-style-type: none"> レーザープリンターとインクジェットプリンターの違いを判別できる プリンターに正しく接続していることを確認できる 既定のプリンターを選択できる 	
1.6 デジタルデバイスと接続方法を特定できる	
<ul style="list-style-type: none"> 処理装置について定義できる データ用ケーブルやコネクタの種類を判別できる 	
2. デジタル社会の一員としての責任（デジタル シティズンシップ）	
2.1 複数のデジタル アイデンティティを作成し、管理する	
<ul style="list-style-type: none"> 私的なデジタル アイデンティティと公的なデジタル アイデンティティを区別できる 複数サイトの認証情報を管理する 	
2.2 標準的なデジタルエチケットを適用する	
<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じたデジタルエチケットを実践できる 連絡するのにふさわしい時間を判断できる コンテンツに関わるデジタルエチケットを説明できる 文化的多様性に対する配慮を示せる 	
2.3 デジタルスキルの向上を目指す	
<ul style="list-style-type: none"> テクノロジーの進化に敏感になる ヘルプ機能やコミュニティ リソースを活用する 学習状態の把握と改善のためのフィードバックを求める 	

出題範囲（参考訳）

3. 情報の管理

3.1 デジタル情報に対する必要性や要件を判断する

主要な検索用語について理解している
条件を絞って検索できる

3.2 個々の検索結果やデジタル制作物の信憑性を判断する

個々の検索結果やデジタル制作物の正確性を評価できる
個々の検索結果やデジタル制作物の観点を評価できる
個々の検索結果やデジタル制作物の偏向性を評価できる
個々の検索結果やデジタル制作物の信頼性を判断できる
個々の検索結果やデジタル制作物の妥当性を評価できる

3.3 オンラインでのデータ収集、保存、検索を行う

電子データやアンケート回答の収集方法について説明できる
中央データストレージシステムについて説明できる、利用できる
オンラインフォームに記入する

4. コンテンツの作成

4.1 デジタルコンテンツを作成する、編集する

レイアウトされた文書を作成する
プレゼンテーションを作成する
基本的な表計算ファイルを作成する
基本的な画像編集作業を行う
基本的な動画編集方法について説明できる
優れたキーボード利用スキルを示せる
文書の変更履歴を管理できる
一般的なショートカットキーを利用できる

4.2 デジタル情報や電子ファイルを管理する

データやコンテンツを整理する、保存する、検索する
ファイル圧縮のメリットと方法について説明できる
さまざまな保存場所にあるデータの所有権について説明できる、特定できる
読み取り専用ファイルと読み取り/書き込みファイルの違いを判別できる
パスワード保護をかける
ファイルのバージョン管理の概念について説明できる

4.3 責任をもってデジタル資源を別の目的に再利用する

知的財産の利用や共有に関わる権利や義務について理解している
デザインテーマやスタイルを用いてデザイン要素に統一性を持たせる

4.4 特定の対象に向けてコンテンツを公開または提供する

特定の対象向けにどのように情報をカスタマイズするかを判断できる
特定のユーザーに合ったファイル形式を判断できる

出題範囲（参考訳）

5. コミュニケーション

5.1 デジタル環境で他者と交流する

コミュニケーションのための適切なプラットフォームやツールを選択できる
 電子メールの文面を作成する
 オンラインコミュニティのメンバーと交流する
 オンラインリソースを使ってコミュニティサービスの利用可否を確認する

5.2 電子商取引の基本について理解している

材（物品）とサービスについて説明できる
 電子決済の仕組みを説明できる
 アプリでの購入とそのセキュリティ上の懸念について説明できる
 メディアストリーミングサービスの例を特定できる

6. 共同作業

6.1 共同作業によるコンテンツ作成のためにデジタルツールやテクノロジーを利用する

共同作業に利用されるデジタルツールを挙げられる
 共同作業のメリットについて説明できる
 同時編集と非同時編集を比較・対照できる
 共同執筆の方法について説明できる
 同僚の作業を校正し、コメントする方法について説明できる

6.2 共同作業において標準的なデジタルエチケットを適用する

ビデオ会議
 ウェビナー（オンラインセミナー）

7. 安全とセキュリティ

7.1 デジタルテクノロジーの利用による健康リスクや身体への健康被害を回避する

標準的なコンピューター利用方法に伴う健康リスクについて説明できる
 インターネット利用に伴うリスクについて説明できる
 ハードウェアのユニバーサルデザインの目的について説明できる

7.2 デジタルテクノロジーの利用による心の健康へのリスクを回避する

「なりすまし」の概念を説明できる
 「FOMO」（fear of missing out、取り残されることへの恐れ）について説明できる
 ネガティブな投稿が引き起こし得る危険や影響について説明できる

7.3 デバイスのセキュリティについて理解している

信頼していないポータブルメディアデバイスから保護する方法を特定できる
 デバイスの暗号化について定義できる、暗号化の方法を特定できる
 カメラへのアクセスを許可しないことが適切かつ必要な状況について説明できる

7.4 ファイルのセキュリティについて理解している

パスワード保護のためのファイルオプションを特定できる
 編集の制限について説明できる